

# 「地方創生カレッジ in 妙高」のまとめ

## 1. テーマ「デジタルを活用した地域課題の解決とは」

デジタルを活用した先進的な事例を元に、その目的や目指す成果を地域行政・事業者・住民に理解を促し、地域の課題に主体的に関われる人材の育成を通じた「観光市民」づくりを進め、デジタルの力を活用した地域の課題解決を図る。具体的には、妙高で取り組みを始めているDX実証事業やスキー場へのICゲート導入を事例として、地域の全ステークホルダーを巻き込み、観光現場における人材確保、生産性向上、お客様の利便性向上に向けて、地域全体が一体となった取り組みを進める。

## 2. 課題認識

コロナ禍を経て持続可能な地域社会の発展への意識は更なる高まりをみせており、観光分野においても経済的価値のみならず、地域社会を構成する産業として環境や文化、地域コミュニティの保全や維持などにも貢献していくことが求められている。そのためには、観光関係者のみならず、地域事業者やまちづくり組織、地域住民などからも、観光の意義や観光産業について理解していただくことが重要であり、特に、昨今の人材不足やインバウンド誘客が喫緊の課題となっている現状を踏まえると、観光現場における人材確保、生産性向上、お客様の利便性向上などへの対応にデジタルの活用が必須とされており、期待する成果を上げる為には、これまで以上に地域全体が一体となった取り組みを進めることが必要な環境となっている。

## 3. 課題解決に向けての方向性

スキー場へのICゲート導入という妙高エリアにとっては大きな変革チャンスであるが、地域において幅広くステークホルダーを巻き込むことは容易ではなく、特に、地域事業者を巻き込む為には、個社の事業範囲を越えた発想やメリットによる地域内での連携や顧客サービス改善、生産性向上などの成果を具体的に示す必要がある。

様々な事業や取り組みにより日本各地で進められている、「データ活用」、「DX化推進」、「プラットフォーム構築」などは地域行政やDMO向けに進めることが多いが、これらで期待する成果を上げる為には地域全体を如何に巻き込めるかという点は共通である。その為にも、今後ほどの様にすれば地域事業者を含めた地域の巻き込みを進められるかについて、具体的な事例を元にした学びや実証機会を増やすことが肝要である。

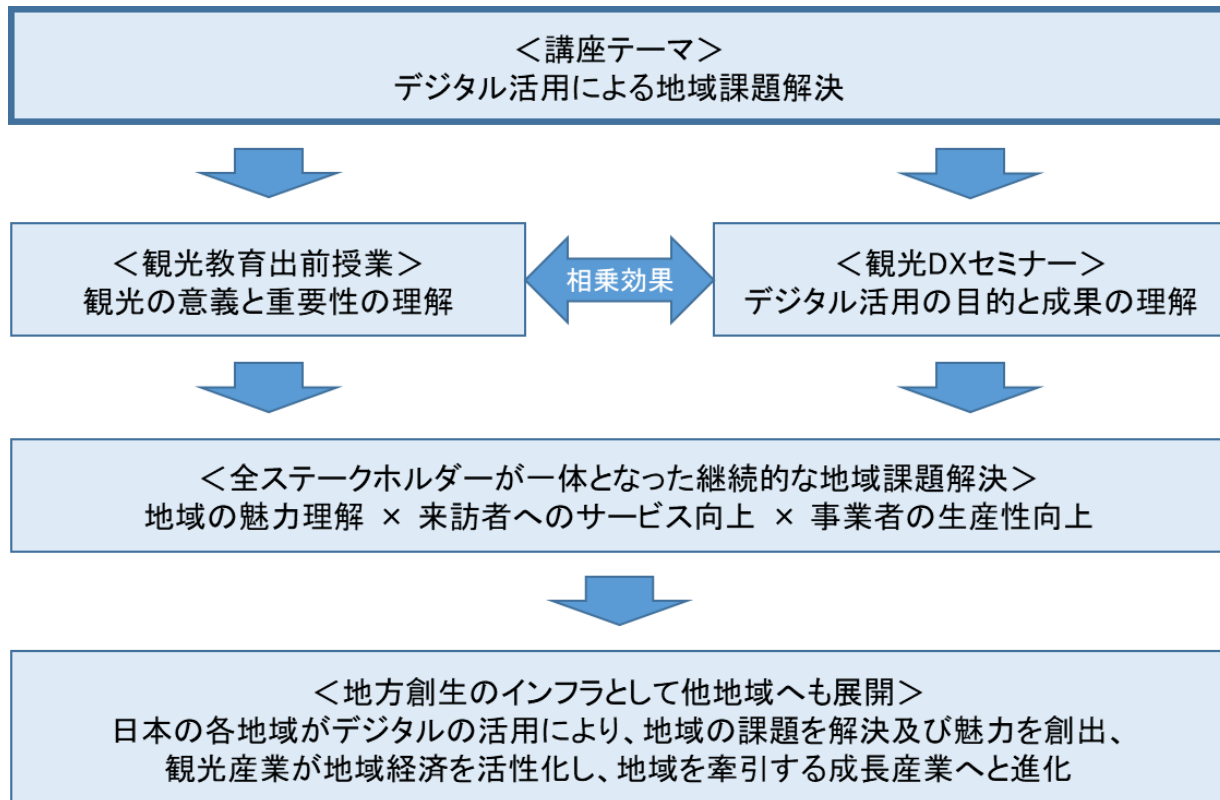
## 4. 参加者の学び・気づき

今回の講座で得た学び・気づきとして、

- 観光教育出前授業において、地元の中学生の柔軟な発想を聞いた後に、観光DXセミナーで具体的に妙高が取り組んでいることを学ぶ構成としたことで、様々なステークホルダーが妙高における観光の意義と観光DXの取り組みを幅広く知ることができた。
  - スキー場へのICゲート導入で実現できることや今後目指すことについて、先進的事例を元に深く学ぶ機会となり、地域で事業を進める上で役立つ情報を多々得ることができた。また、行政やDMO以外の各事業者視点での課題感について知ることができた。
  - 観光客増加により妙高市の滞留人口が増えることが地元事業者として利であることを理解し、今後もその視点から学生など若年層の発想を観光振興に役立て、何ができるのかを地域一体となって継続的に考えていく取り組みが必要であると認識した。
- などの事項が挙げられた。

# 「地方創生カレッジ in 妙高」のまとめ

## 5. 課題解決に向けたスキーム図



観光DXによる地域課題解決において、地域事業者や住民の巻き込みを課題とする地域が各地に散見される

中学生の柔軟な発想を聞いた後に、大人たちが前向きな姿勢でセミナーに参加し、ワークショップで意見交換

講座開催から一月半後、関係者に追加でヒアリングを実施し、課題整理と今後の継続的な取り組みを促す

様々なステークホルダーを巻き込むデジタルを活用した地域の課題解決事例として、「観光市民」づくりを進める

本講座をeラーニング化することにより地域内での活用及び他地域に対する参考事例とする

eラーニング内容(1時間52分)			
32分	20分	24分	36分
<観光教育授業> 観光の意義 観光DXに関するワーク	<講義> 観光DXとは？ 事例紹介と目的の理解	<講義・ワーク> 妙高での取り組みの 目的と実現したい事	<追加収録> 関係者の巻き込み等 インタビューとまとめ